

【8月知事定例記者会見】 8月23日（金）

- いよいよ9月5日から開幕 SAGA2024 国スポ・全障スポ

全競技が、10月5日から始まると勘違いしている県民の皆さんも多い。会期前競技の開幕まで、あと13日。パリ五輪で活躍した体操競技や水泳競技の選手も参加する。

開会式まで43日、全障スポまでは64日。全障スポは3日間の開催で、佐賀を訪れた人は3日間滞在するため、閉会式は全員参加で盛り上がる。

9月5日から会期前競技スタート

できる限り佐賀県に宿泊できるように、会期前競技を増やし、9月5日から一部の競技が始まる。国スポの正式競技は37、そのうち12競技は会期前に実施する。

- ・会期前競技Ⅰは、9月5日から17日。

体操、オープンウォータースイミング、水泳、ローイング、
鹿児島県湧水町のカヌー。

- ・会期前競技Ⅱは、9月21日から10月1日。

サッカー、新体操、セーリング、剣道、テニス、ソフトテニス、ライフル射撃、クレー射撃。

新体操少年男子は、昨年正式競技にならず、佐賀大会から正式に復活する。また、パリ五輪セーリング銀メダルの岡田奎樹さんも競技に出場する。

SAGA2024 に染まる 10月

総合開会式は10月5日、本会期中に正式競技27競技を実施。閉会式は、10月15日。

全障スポは10月26日に開会式。28日までの3日間で、14競技を実施。

国スポ、全障スポともに開会式はスタジアム、閉会式はSAGAアリーナで実施する。

佐賀では、「する・観る・支える」の「観る」を大事にしている。初心者にも分かりやすい観戦ガイドブックを作成した。これを参考に、競技観戦にお出かけいただきたい。

いざ、SAGA2024 へ

21日、SAGAアリーナで佐賀県選手団の結団式があった。国スポ955人、全障スポ440人、合計1,396人のうち、結団式には1,100人ほど集まった。

異種目の競技者が、集まることは少ない。国スポと全障スポの選手が一緒に、チームSAGAで戦おうと企画した。大会が終わる10月末まで、佐賀さいこうなSAGA2024にしたいという気持ちを強くできた。

パリの熱気を、SAGA2024 に吹き込む

セーリングの岡田奎樹さん、ホッケーのエースの鳥山さんが参加。バレーボール、ラ

グビーは優勝候補。フェンシングは、パリ五輪で高嶋さんが3位決定戦で活躍し、銅メダルを獲得。自由形の柳本選手、飛び込みの新井選手、カヌーの矢澤選手、柔道団体銀メダルのウルフ・アロン選手の活躍に期待する。

1年遅らせたことで、オリンピック直後の試合が観戦できる。これも大きな効果になった。スポーツへの関心が熱い中、SAGA2024が開催でき、とても嬉しい。

新しいスポーツシーンを共に切り拓く Sagantier！（サガンティア）

運営サポーターは、ジェンダーレスを意識し男女同数。研修会では、障がいのある方への接し方やおもてなしを学んだ。ユニフォームは、たすき状の形で色をつけ、バトンをつなぐ気持ち表した。色によって役割が違う。

新しい開会式にも注目～参加する人も、見る人も楽しく～

北から順の整列行進ではなく、国体開催順に入場する。また、都道府県ごとにアピールタイムを設ける。内容は、各都道府県にゆだねているので、何が起きるか佐賀県にとっても挑戦。

炬火台は、つくらなかつた。大会後に使わないものは、常設でなくていいと判断した。吉岡徳仁さんと共に熟慮したガラスの炬火台へ点火する。

開閉会式は、様々なチャレンジを盛り込んだ。うまくいかないこともあるだろうが、それも含め、会場やテレビ、動画配信でお楽しみいただきたい。

SAGA2024 開催記念～佐賀・鹿児島エールプロジェクト「絆展」～

鹿児島に1年譲ったことで、双子の大会と位置づけイベントを一緒にやってきた。31日には駅前交流広場で、両県にゆかりのあるアーティストのパフォーマンス、塩田知事や新鍋理沙さんとのトークショー、「Batons」のカラオケチャレンジ。鹿児島の高校生が、佐賀錦を使った大島紬を製作した連携プロジェクトなどの巡回展示もある。

すべての人に、スポーツのチカラを。大会が変わる はじまりの地 佐賀から、スポーツ文化の新時代をつくりたい。県民の皆さんも、ぜひ青い色の服で応援を。

● 新しい「空間」が生まれます（さが維新テラス）

新しい価値を生み出す空間

佐賀駅南側を維新の風が感じられるまちにしたい。

現在、歩道拡張工事中の交差点の佐賀駅南から駅前交番西までを「さが維新テラス」と名づけ、様々なイベントを計画中。8月23日午後オープン。

ほかにも、近々、続々、リニューアル！

「駅前まちかど広場」は、「さが維新広場」へ名称変更する。現在、駅前まちかど広

場にある偉人像のうち3体を駅前に移動する。

交差点の名称も変更する。

- ・佐賀駅北側交差点は、「佐賀駅（サンライズロ）」
- ・佐賀駅南側交差点の「駅南口南」は、「佐賀駅（佐賀城口）」
- ・「駅前交番西」は、「さが維新広場」
- ・県庁の近くの「郵便局前」は、「佐賀城北御堀端」へ変更する。

全長 50mのロングテーブルで乾杯！

9月4日に「Terrace de Cheers！（テラス デ チアーズ）」と題したトライアルイベントを開催。佐賀大学の学生を中心に、佐賀商工会議所の青年部と佐賀県の共催。

15時から、マルシェやダンスコーナー、キッチンカーの出店。長い机を並べた席で、18時から一斉に乾杯する。

楽しみ方は人それぞれ。人々が賑わう歩道空間にしたい。

● 特別展「ジパング～平成を駆け抜けた現代アーティストたち～」

現代アートのトップアーティストの作品が佐賀に集結。池田学さんの「誕生」が、1年2か月ぶりに好評のもと帰国した。

9月6日～8日は、SAGA GAYA MUSEUM（サガ ガヤ ミュージアム）と題して、美術館でガヤガヤ騒ぎながら鑑賞する時間帯を設けた。前回は大好評だった。

● 映画「傲慢と善良」が佐賀県で撮影されました

「傲慢と善良」は、直木賞作家 辻村深月さんの作品で、2023年に最も売れた小説。発行部数は100万部を突破。ネット社会での男女の出会いや人間の本質を描いた現代風ドラマ。映像化は無理だろう、と辻村さんは思っていたようだ。この映画が、佐賀県で撮影された。重要なシーンに佐賀県のロケーションが出てくる。

主演はキスマイの藤ヶ谷太輔さんと奈緒さん。映画版オリジナルのストーリー展開もある。「真美（主人公）がそこに居るだけで真美の心情と重なる場所が“佐賀”だった。」と萩原健太郎監督は言っている。

● 3つの機関の垣根を超えて自立から就職までを支援（ユメタネ）

佐賀出身谷口氏主宰の「さが若者サポートステーション」、県の「ジョブカフェ SAGA」、国の「ヤングハローワーク SAGA」は、3つの組織が一体となっている、とてもいい佐賀モデル。白山の同じビル内で活動していた。このビルの老朽化により、8月26日から八幡小路の元銀行ビルに3団体そろって移転オープンする。受付も一本化し、さらに連携を強化したワンストップセンターを実現。若者の就職活動、その後も含めて支援、心の問題にも寄り添うサポート体制ができた。